

## 平成27年度協議テーマと委員意見

## 教育大綱と取組の現状

## 課題

## 検討が必要な事項

### 相談支援体制

- ・心の教育センターが、SC等の育成の場となることが重要である。
- ・新しい相談体制をどのように周知するか。
- ・関係機関との連絡協議会をどのような形で行うのか。
- ・個別のケースに応じた対応フロー図を提示してほしい。
- ・教育現場と心理の専門家が直接つなげなかった、早期対応のルートが必要である。
- ・個人情報の取り扱いは、難しい問題である。県条例との兼ね合いで検討されなければならない。

### 厳しい環境にある子どもたちへの支援

#### 専門人材・専門機関との連携強化

- ・「心の教育センター」と、関係機関との連携強化
- ・ワンストップ&トータルな教育相談支援体制の構築

### 相談支援体制について(継続テーマ)

◆ワンストップ&トータルな相談支援体制を構築するには、関係機関との円滑な情報共有と、心の教育センターの機能の充実が必要である。

◆心の教育センターの機能をさらに充実させるために

### ネット問題

- ・ネットの利用に関するルールづくりや基準づくりについては積極的に支援していくことが大事である。
- ・国の上位規定は、18歳未満の青少年が対象である。しかし、高知県の取組は児童生徒が対象である。高知県青少年保護育成条例を現状に合わせて改訂することも検討する価値がある。また、それが市町村の方向性にもなる。

### 厳しい環境にある子どもたちへの支援

#### ネット問題に対する県民運動の推進

- ・インターネットの適正利用に向けたルールづくり
- ・保護者に対する啓発

### ネット問題について(継続テーマ)

◆ネット問題への取組を、県民運動に広げるためには保護者のみならず、周りの大人の積極的行動が必要である。  
◆児童生徒のみならず、青少年全体を含めたルールづくりが必要である。

◆ネット問題に対する県民運動のさらなる推進のために

### その他

- ・未然防止に関わることについては、掘り下げて議論したい。
- ・いじめを切り口としながら、学校と地域の連携をどう構築していくか。
- ・地域との連携を含んで教育大綱にある地域との連携についても、いじめ問題への取組の観点からさらなる進化はどうあるべきかを議論したい。

### 地域との連携・協働

#### 地域全体で子どもを見守る体制づくり

- ・安心安全な居場所の確保
- ・学校が地域等と連携・協働する体制

### 地域全体での子どもの見守りについて(新テーマ)

◆いじめの未然防止は、学校だけでなく、地域ぐるみで取り組む必要がある。そのために、保護者、地域、関係団体、関係機関等が、連携・協働して子どもを見守り、学校を支えていく必要がある。

◆いじめの未然防止に向けた、地域全体での見守りの在り方